

# 議会だより



P 2-3 令和元年度 決算報告

P 6 町との協議事項

P 4 令和元年度 決算審査報告

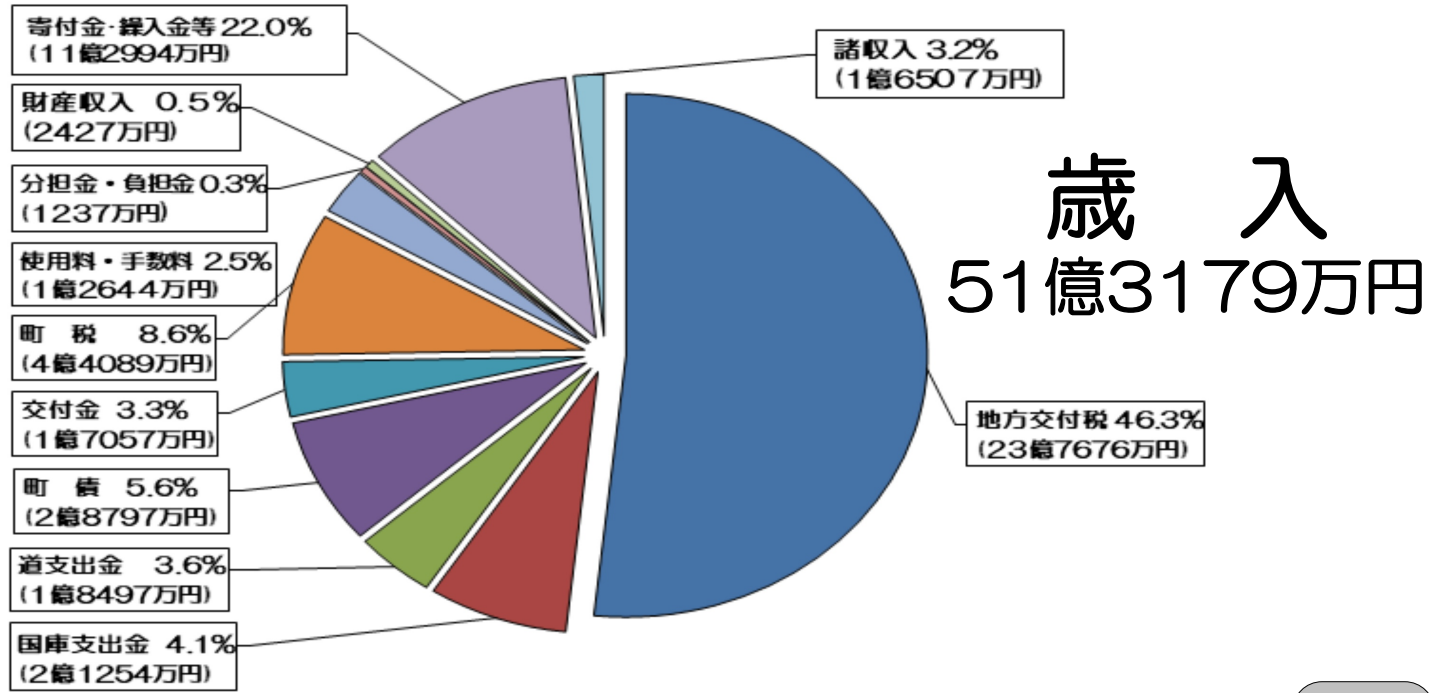
P 7-11 一般質問6名 9件  
議員報酬 高い?安い?

P 5 令和2年度 9月定例会  
補正予算他

P 1 2 「その人に聞く」  
地域おこし協力隊員  
鈴木 亜室さんにインタビュー

9月27日(日)、136年の歴史がある東洋小学校で最後の運動会が行われた。  
6名ずつ左右に分かれ懸命に綱を引くが、やや劣勢な白組。昭和30年代には200名を超える児童数を誇った同校も、今年度は12名。来年4月からはえりも小学校に統合されるが、東洋小での良き思い出を胸に、新たな場所での健やかな成長を願う。





令和元年度  
一般会計決算のあらまし

ふるさと納税が大幅に増加  
国・道支出金、町債等が減少

**歳入**  
地方交付税が5302万円、水産物荷さばき施設や公営住宅等の大型建設事業の終了に伴い、国・道支出金や町債が減少した一方、ふるさと納税寄付金が約6億円増加したことにより、前年比4億3021万円の増となった。

**歳出**

普通建設事業費が1億5241万円、港湾管理維持補修費が1649万円、公債費が7839万円減少した一方、物件費では、ふるさと納税運営委託料等が9420万円、補助費が1億1347万円、積立金が5億890万円増加し、前年比4億3976万円の増となった。増加の要因は、ふるさと納税関連が主なものである。なお、年度末の地方債残高は、2億6014万円減少し、46億3797万円である。

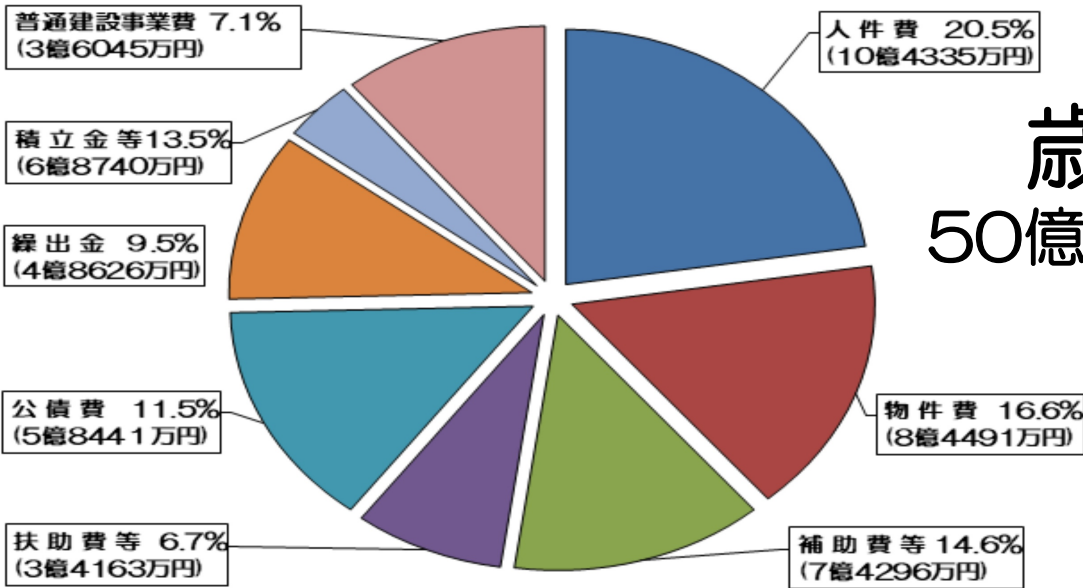
一般会計ほか6会計  
決算総額73億5200万円  
を認定可決

9月17日から2日間にわたり開かれた第4回定例会では、令和元年度各種会計決算など、議案14件、認定7件を審議し、すべて原案通り可決した。

○令和元年度えりも町会計別決算総括表

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	51億3179万円	50億9137万円	4042万円
国民健康保険特別会計	10億4884万円	10億1416万円	3468万円
簡易水道特別会計	1億8424万円	1億8291万円	133万円
診療所特別会計	3億4756万円	3億4554万円	202万円
下水道特別会計	1億7378万円	1億7289万円	89万円
介護保険特別会計	4億8457万円	4億8156万円	301万円
後期高齢者医療特別会計	6418万円	6357万円	61万円
合計	74億3496万円	73億5200万円	8296万円

# 歳出 50億9137万円



## 決算特別委員会 質疑

9月18日、令和元年度の決算に対する質疑応答が行われた。各委員から多くの質疑があったが、内容を抜粋し掲載する。

### 町税等収納率上昇

**質疑（高松）**

町税、国民健康保険税も収納率が少し上がっており大変喜ばしいが、その要因は。新たな対策を打ったのか。

**答弁（保健福祉課長）**

申請事務を統括している北海道にも責任の一端があると考え、2月19日に救済措置について、道に対して申し入れを行った。

**答弁（税務課長）**

特段、新たな対策を行ったことによる数字の伸びではなく、これまでよりも滞納者や納税者のごとくまで赴き、徴収額や納税相談の回数を増やすなど、地道にやってきたことの表れとみている。

### 交付金算定誤りは

**質疑（竹内）**

診療所に対する国からの特別調整交付金が算定誤りによって、交付されなかったがその後の経過と今後の見通しは。

**再質疑（竹内）**

救済措置の見込みがないとなると、約93

00万円が町の損失ということではないのか。

**答弁（保健福祉課長）**

結果的に町でも事務を行う上で見逃してしまつた責任もあり、国は救済措置がとれないということである。

**質疑（石川）**

浄化センターの管理委託料について、下水処理量が同規模の他町村の例を調べてみては、管理人数の面でも、高すぎると感じておりいろいろな角度から検討しては。

**浄化センター管理委託料は**

**質疑（橋本）**

令和元年度の下水道接続の増減数は、浄化センター管理委託料の4400万円を減らすことができないか。

**答弁（建設水道課専門技師）**

令和元年度の新規接続は6戸で、減はない。委託料の減額部分は検討しているが困難である。国は上下水道事業の広域連携の検討を打ち出ししており、2年後までに計画を策定するが人数を減らさない限りは難しく、それを含めて検討している。



委託料が議論されている浄化センター

# 監査委員、決算審査結果を報告

えりも町監査委員 小関孝雄  
えりも町監査委員 笹谷廣喜

## 決算審査意見書の中から一部抜粋し掲載

### 財政の推移及び収支の状況

令和元年度の一般会計の決算額は前年に比べ、歳入9.2%、歳出9.5%の増となっております。

この歳入増の主な要因としては、地方交付税と国庫支出金が減少したものの、ふるさと納税寄付金が大幅に増加したことによるものと考えられます。また、40,415千円の剰余金が生じているとともに、実質単年度収支でも301,417千円の黒字となっております。

### 収入未済額について

令和元年度末の一般会計の収入未済額は138,762千円であり、前年度と比較すると22,696千円、14.1%の大幅な減となっております。また、国保・簡水・下水道・介護・後期医療を含めた収入未済額は407,788千円となり、13.3%、62,675千円の減となりました。

元年度は、町税を中心に滞納処分が押し進められ、その成果が表れたものと考えられます。今後も各担当課との連携を深め、効率的かつ適切な収納対策を講じ、収入未済額の更なる縮減に努めていただきたいと思います。不納欠損処分については、関係法令に則り適正に処理されているものと認められますが、負担の公平及び歳入確保の観点から、引き続き厳正に対処されるよう望むものであります。

### 総括

人口減少や少子高齢化が進む中、税等の大幅な自主財源の確保は難しい一方で、社会保障関係費の増加、公共施設の老朽化による改修・更新、地震・津波を始めとした災害への備えなど、様々な課題に直面しており、依然として厳しい状況が続くと予想されています。加えて、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、見通しもなかなか困難な状況にあります。

今後の社会情勢の変化をより注視していきながら、事業の検証と選択により、効果的な行政運営に取り組み、町民が安心して暮らしていけるまちづくりの実現に向けて邁進することをご期待申し上げます。

## 令和元年度決算審査を終えて

### 決算特別委員会 委員長 成田 一人

9月定例会において決算特別委員会が設置され、図らずも私が大変重大な職責でありました。委員長に選任されました。

ご存じのように、決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されたかどうか審査するとともに、その行政効果を評価する、極めて重要な意味があります。

委員会では、令和元年度の一般会計と6つの特別会計について審議を行ったわけですが、終始活発な質疑応答が交わされ、その結果、全7会計の認定を採決し、続く本会議でも同様に採決されました。各委員、理事者、説明員の皆様におかれましては、審査の円滑な運営にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

厳しい財政状況にあるわがまちですが、令和元年度はふるさと納税寄付金額が管内トップの8億9000万円を超える実績を残すことができ、また、町税等の収納率も大

きく上向いております。地方交付税などの依存財源に頼るわがまちにとって、自主財源を確保することは大きな課題であるため、今後も引き続き、改善に向けた取り組みを進めていただきたいと思います。

今年もあと2か月となりますが、理事者におかれましては、この審査結果が後年度の予算編成や行政執行に生かされるよう期待するとともに、私たち議員も住みよいまちづくりを進めるため、なお一層の努力をする所存ですので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。







# えりも町議会第4回定例会

## 補正予算

### ◎令和2年度 一般会計(歳入)

・新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金  
1億9525万1千円

国の第2次補正予算による新型コロナウイルス感染症対応の臨時交付金

### ◎令和2年度 一般会計(歳出)

・高齢者センター改修工事等  
4022万2千円

※町への要望書を6頁に掲載しております。

・えりも高等学校自家発電設備工事  
2900万円

避難所でもある高校の水道が停電時に使用できるように自家発電設備を設置

・南東洋バス停留所移設工事  
100万円

現在の場所から国道を挟んで反対側に移設

・機械器具費等  
494万1千円

感染症の発生した際の連絡体制強化のためにIP無線機を購入

・災害用備蓄品費等  
500万円

災害時の感染予防対策のため簡易トイレ等を購入

・高度無線環境整備推進事業負担金  
1億4127万4千円

未整備地区の光ファイバーを整備するための負担金

・高齢者等冬期生活支援金  
160万円

通例では灯油価格の動向により実施するがコロナ禍により在宅時間が長くなることを考慮して実施

・中央保育所避難路階段設置工事  
380万円

中央保育所避難路入口に階段を設置

・塵芥処理費修繕料  
359万8千円

清掃センター及び重機の修繕料

・公園管理費修繕料  
38万5千円

百人浜遊歩道木橋及び灯台公園トイレの修繕料

・臨時地方道整備事業  
1950万円

宇遠別1・2号線の落石防護柵等補修と各地区町道改良等の費用

・教育旅行の延期に伴う保護者負担補助金  
115万1千円

修学旅行等の教育旅行で日程の延期や移動手段の変更によって増となる保護者負担分を全額補助

・教員住宅管理費修繕料等  
797万3千円

・小学校施設維持費  
2277万3千円

えりも岬小学校屋上防水シート改修工事やえりも小学校体育館外壁一部改修工事等の費用

## 人事

・えりも町教育委員の選任

えりも町字新浜

西川 一郎(63歳)

再任

えりも町字えりも岬

川崎 尚子(65歳)

再任



えりも高校の自家発電設備は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金によって設置される

# 町 と の 協 議 事 項

## 町道3路線廃止

黄金道路(国道336号)の旧道で、国から移管を受け町道とした3路線は、いずれも落石等の危険があり、ゲートを設置したうえで、一般車両の通行を禁止し、道路の利用は漁業者の漁場との往来に限って許可してきた。

このような状況を解消し、一般車両の通行が可能な道路として維持管理することは困難であるため、路線を廃止する。(令和2年12月廃止予定)

- ① 宇遠別1号線 900.6m
- ② 宇遠別2号線 3,304.2m
- ③ オニトップ通り線 2,009.8m

※町道としては廃止するが、なるべく現状を維持することを確認。



長年の努力で緑が復活した百人浜のクロマツ林  
展望台から庶野方面を望む

## 高齢者センターの 運営に係る要望書を提出

これまで2回、町から高齢者センターの改修について説明を受け、議員間でも改修、移転、廃止などの意見が出た。

全議員で協議した結果、改修案を概ね認めることとしたが、今後の同施設の運営について、町議会として次のとおり要望書を提出した。

### 要望事項

- 1 利用者が減少し、赤字が毎年発生している現状から、利用者と経費のバランスを注視し、施設の存続や設置場所を含めた建替えなどの検討を、5年ごとに実施すること。  
大規模な補修が必要になった時は、現施設の廃止を含めた検討をすること。
- 2 町民のニーズを把握し、利用者が減少しないような対策に努めること。
- 3 玄関は、明るく親しみやすい雰囲気となるように改修すること。
- 4 看板を目立つように設置し、百人浜オートキャンプ場の利用客に対しても、より利用を促すような周知を行うこと。改修した際には、インターネットを活用し、施設の存在を広く知ってもらうようにすること。

## 映画「北の流氷」(仮称) 制作への支援

浦河町出身の田中光敏監督による映画「北の流氷」(仮称)の実現に向け、各町の具体的な支援策が決定。

- ① 映画総制作費は、3億5000万円を想定。
- ② 支援方法には「出資金」「協賛金」「寄付金」があるが、主体的に映画の方針や方向性に関与するためには「制作委員会」に参画しなければならず、4町で協議の結果、「3000万円+税」を出資し、負担割合は「えりも5、浦河3、様似1、広尾1」とし、えりも町は「1500万円+税」の負担割合とする。
- ③ 各町のふるさと納税(個人版)の用途に「映画制作の実現」を掲載し、集まった寄付金から必要経費を除いた金額を「協賛金」とする。
- ④ 各町、関係する企業等に映画への協賛や寄付について要請活動を行う。

今後は、令和3年度に制作委員会を設立し、ロケハンやキャスティングを決定。令和4年度秋にクラクイン、令和5年度以降の劇場公開を目指す。



# 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



竹内孝文議員

## 問 発熱患者の検査対応は

## 答 現状PCR検査はできない

問 竹内 議員

国は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えて、「発熱患者の受診方法を直接、地域の医療機関に電話で相談、検査を受けられる体制に変更する」と発表したが、次の点について伺う。  
① 診療所では同時検査の体制は確保できるか。

② PCR検査キットを購入する予定は。

### 答 診療所事務長

① 体制整備は、都道府県、自治体、医師会などを含めた関係者と地域における整備方針や課題等、十分な協議を行った上で整備することになっている。

現在診療所で、院外に設置した仮設診察室において、発熱・かぜ症状の方の診察を行っており、PCR検査は行えないものの、インフルエンザは例年通り検査ができるよう準備を進めている。

② 検査キットを含む抗原検査を、感染が疑われる患者の診断に使用するためには、北海道と委託業務契約を締結する必要がある。

同時検査が可能となった場合は、院内での感染リスク等を十分協議して購入を検討したい。



発熱患者は、仮設診察室で診察

## 問 ゼニガタアザラシ対策は

## 答 漁協と連携し対策支援をする

問 上野 議員

ゼニガタアザラシは、町の観光資源であるが、



上野陽司議員

漁業者にとっては害獣であり、様々な工夫をこらして共存するための対策を講じてきた。平成28年から「準絶滅危惧種」となり、「えりも地域ゼニガタアザラシ特定希少鳥獣類管理計画」が策定され、一定数捕獲できるようにになったが漁業被害は減少していない。このままでは、アザラシより先に漁業者がいなくなり、生産性が減少、町の経済が落ち込んでしまう。

00頭になった時の漁業被害の状況により、更なる対策の必要性など、環境省や漁協等関係機関と協議が必要であると考えている。

② 町として、毎年数千万円の被害の補填は財政的にも難しいと考えるが、今後も引き続き国に補償制度の創設の要望をしていきたい。

### 答 産業振興課長

① 各種漁業へ影響を及ぼす成獣の積極的な捕獲を進めたいうえで、管理計画上の生息数8

漁協と連携をとりながら、なるべく被害を出さない、そして、被害を受けた方にどのような支援ができるのか考えていきたい。

### 答 町長



アザラシの食害にあった秋鮭



橋本維応議員

問

# 公金取り扱いの チェック体制は

答

## 徴収は2名体制 収納消込処理は出納室で実施

問  
橋本議員

不祥事発生原因の多くは、公金取り扱い管理体制とチェック体制の不備にあると言われている。

公金収納事務に関する現金の収納手続き、保管の状況、職に対するコンプライアンスや危機管理の指導、取り組み及び内部チェック体制は。

答  
税務課長

臨戸徴収における基本的な流れは、徴収担当者2名が未納者一覧により臨戸徴収を実施し、徴収金は「徴収現金引継書」により納付書とともに出納窓口引き継いでいる。

各徴収金は所管する課長等の確認を得て、収納消込処理を行っているが、徴収と消込の担当部署は別になっている。



役場内の出納室へ徴収金を引き継ぎしている

これらのチェック体制は、内部規則として取り扱っている。

また、公金の収納管理は、ことあるごと町長から訓示が発せられており、特に徴収担当は、コンプライアンス面の意識確認等を併せて進めている。

問

# 老朽化した 教員住宅の今後は

答

## PFI法も 視野に入れ検討

問  
橋本議員

老朽化した教職員住宅は、間取りや使い勝手も悪く、維持管理費も築年数で嵩んでくるが、次の点について伺う。

①老朽化した空き家の教員住宅を、現代風の間取りに改修しては。  
②土地・建物を民間に売却し、マイナス入札を検討しては。

③人口減少に伴い、学校の統廃合が進み本町地区に生徒が集中すると予想される。今後の住宅建設に対して民

間事業者に補助金を出しては。(PFI法の検討)

答  
学校教育課長

①経年劣化で老朽化した空き家の教員住宅は、耐用年数の経過を待つて解体予定で、改修等はしない。

②マイナス入札は、施設解体と跡地に住宅建設を条件として、自治体が落札金額を業者に支払うものであるが、解体と解体後の土地売却が一体化し、住宅建設後の税収がメリットの一方、解体後の土地活用が課題となる。

地域の住宅需要も少なく、老朽化した空き家の教員住宅と用地が、この課題をクリアするには相当困難であり、マイナス入札の検討を含めた民間への売却は、考えていない。

③提案のあった「PFI法」は民間資金等活用事業で、教員住宅

に当てはめると、町で教員住宅に係る建設計画等を決定し、民間業者に資金調達、施設設計と建設、維持管理と運営についての一括を発注するという手法である。

児童の減少が今後学校の統廃合問題に結び付くことは、避けて通れないことであり、今後、教員住宅の在り方については検討する時期が到来すると考えられるが、その際、PFI法の採用をはじめとした民間活用についても、選択肢の一つとして検討したい。



教員住宅の有効利用を





大坂庄吉議員

# 問 新型コロナウイルス感染症の影響は

# 答 各施設での利用者は減少している

問 大坂議員

新型コロナウイルス感染症拡大は、あらゆる業種に多大な影響を与え、厳しい状況が続いている。当町が行った各事業者への給付金、商品券の発行、水道一部免除などの対策は評価できるが、

① 診療所の患者数は、  
② 管内のPCR検査数は、  
③ 介護事業所の影響と取り組み方は、  
④ 特別定額給付金の当町の未申請0.4%はどうなっているのか、  
⑤ ふれ愛館と風の館の6〜8月の入館数の昨年との比較は。

答 診療所事務長

① 今年の2〜8月までの累計は5689人で、一カ月平均813人。昨年同期と比べ、累計で1635人、月平均で233人の減少である。

答 保健福祉課長

② 日高管内の検査数は、9月7日現在で373人である。  
③ やまと苑は、感染拡大時に利用を控えた方がいたが、全体的には前年並みの稼働率である。

① 診療所の患者数は、  
② 管内のPCR検査数は、  
③ 介護事業所の影響と取り組み方は、  
④ 特別定額給付金の当町の未申請0.4%はどうなっているのか、  
⑤ ふれ愛館と風の館の6〜8月の入館数の昨年との比較は。

答 町民生活課長

④ 民生委員の協力を得て、町は多くの方の申請に努めたが、申請はあくまでも本人の意思によるもので、最終的に0.4%の方が申請しなかった。

答 産業振興課長

⑤ ふれ愛館は昨年605人、今年505人で前年比8%の減少。風の館は、昨年1万3900人、今年9977人で、28%の減少だが、8月は前年と同



新型コロナウイルス感染症の影響で患者数が減った診療所

数の利用があった。

# 問 斎場の看板の更新を

# 答 更新を検討する

問 大坂議員

① 斎場への案内は、入り口付近の立て看板と国道沿いの案内表示板で示されている。しかし、立て看板は文字が薄れて見えにくいので、新しくする考えは。  
② 案内表示板は、本町側から見て右側にある見えにくい。確認しやすい場所に移動する考えは。

答 町民生活課長

① 看板は木質で腐食が進み、文字も薄れてきている。対応策を検討する。  
② 海側の案内標示板は、看板近くにガードレールがあり、傾斜地であるため移動は困難である。



更新前

更新後



高松亮裕議員

# 国立公園化に伴い 環境整備を

## チャンスと捉え 整備を検討

問 高松議員

「日高山脈襟裳国定公園」が令和3年度中にも国立公園に指定される見通しであるとの新聞報道があり、実現すれば知名度が向上し、

当町の観光業に大きな効果が期待されるため、  
 ①豊似湖エリアでの木道や展望台の設置。  
 ②黄金道路エリアでは、目黒荒磯地区の護岸整備を完了させる。  
 ③豊似岳エリアの登山道整備と標識の設置。  
 ④えりも岬エリアでは、増加が見込まれる観光客の休憩・飲食のための施設整備、などが最小限必要であると思うが。

答 産業振興課長

国立公園化は当町にとって非常に大きなチャンスと考えている。

豊似湖、黄金道路、豊似岳エリアでは、自然環境に配慮し、関係機関と慎重に協議し整備を進める必要がある。えりも岬エリアでは、焼失したレストハウスを再建の目途は立っておらず、増加が予測される観光客に対応するための施設整備につい

答 町長

安心して観光客が来町できるように、海岸沿いの国道一本ではなく、内陸部の道路整備についても各町の理解を得て、日高総合開発期成会を通じて国や道に強く要望している。



えりも岬で飲食できるのは民間施設一つだけ

# 新型コロナによる 倒産を防ぐために

## 必要があれば さらなる支援も

問 高松議員

新型コロナウイルスの影響により、倒産する中小企業が増加しているが、長期化するなか支援が途絶えれば倒産が急増する危険性があると指摘されている。当町でも様々な業種に支援をしてきたが、現在支援が完了していない事業はあるか、また、業績が悪化した事業者の相談窓口の開設

答 産業振興課長

や各種給付金の申請手続きへの対応は。倒産回避のため、特に業績が落ち込んでいる事業者に対するさらなる支援の可能性は。

5月に宿泊業者と旅客運送業者に対し、事業継続支援給付金として1件につき30万円、北海道の休業要請や酒類提供の制限に応じた飲食業者に対して10〜20万円の給付を行い、完了している。

4〜6月期で収入が前年比25%減の月があった漁業者、畜産業者及び商工業者に対する上限30万円の給付は、漁業者と商工業者への給付の一部が完了していない。

国の給付金や北海道の支援金の申請相談窓口を役場内に開設し、各種資金の相談窓口は、商工会、漁協、農協でそれぞれ対応している。

今後の支援の可能性は、道内では少数の感染者が出ていますが、落ち着いた状態であると考えている。観光客を含めた人の動きも見え始めており、現状さらなる支援は考えていないが、冬に向け、どのように状況が変わるかを注視し、必要があればさらなる支援を検討したい。

新型コロナウイルス関連倒産の件数動向

件数	確認日	日数
第1号確認	2/26	—
100件	4/27	61日
200件	6/1	96日
300件	6/30	125日
400件	8/3	159日
500件	9/8	195日

9月8日現在、全国で500件が新型コロナウイルス関連倒産。飲食店や旅館・ホテルの倒産が多い



# 問 代行タクシー運行を

## 答 公的交通ではなく、進める考えはない



中野公浩議員

### 問 中野議員

新型コロナウイルスの感染拡大により、売上げ減少の飲食店があると聞くが、酒類を提供する店は影響が大きい。代行タクシーがあれば、店の救済措置にもなり、町内の新たな雇用にもつながると思うが。

現在、町内で運行しているハイヤー会社は、運行時間が午後5時までと聞いているが、交通弱者対策としても時間延長を求める考えはないか。

### 答 産業振興課長

国や道からの営業自粛要請や観光客の減少・町民の飲食店利用の自粛などにより、町内飲食店の売上げが減少している。

その救済措置として、国や道をはじめ町も支援金を飲食店事業者に給付した。

運行代行が飲食店の救済措置になるのではとの指摘だが、運行代行業は公的交通と異なるので、進めていく考えはない。

### 答 企画課長

町内のタクシー事業は、1名体制で午前8時30分から午後6時まで、診療所休診日の土日祝日を休日としている。また、事前予約制で高速えりも号の利

用者対応も実施している。

町は夜間や土日祝日の営業をお願いしているが、2名体制の乗務員募集も応募がないことやコロナウイルス感染症の影響で利用者が減少し、運行時間拡大は困難と回答を受けている。

しかし、引き続きタクシー事業者と協議を継続するとともに、町として交通弱者対策としての公共交通の在り方を検討していく。



町内のハイヤー会社は、1社。町は運行時間の拡大を要望している

# 議員報酬

# 高い？安い？



町議会選挙から1年半が過ぎました

令和元年7月1日現在、えりも町の議員定数は11名、議員報酬は、月18万円。

日高管内7町平均額の約19万4400円を下回り、浦河町の17万5千円の次に低い額である。

北海道全体では、最高は十勝管内音更町の28万1千円、最低は上川管内音威子府村の12万3千円で、総じて人口が多いほど議員定数も多く、議員報酬も高い傾向となっている。

全国的には福島県矢祭町のように日当制(月額3万円)のところもある。

## 議員なり手不足 報酬の低さ、定数減少が原因か

近年、議員のなり手不足が課題となっているが、その原因として議員報酬の低さ、定数の減少により当選ラインが上昇することなどが挙げられている。

5年前の浦幌町議選では定数を13から11に減らしたにもかかわらず立候補者が10名にとどまり、定数割れのまま無投票となった。

また高知県の人口約400人の大川村は、議員のなり手不足から議会を廃止して有権者が直接村政に参加する「町村総会」を検討し、国を巻き込んだ議論の末、最終的に議会維持に落ち着いたというニュースは記憶に新しい。

幸い当町では定員割れも無投票も今のところはないが、将来も心配ないとはいえない。

当議会でも「議会報告会」や「議会だより」で住民との距離を縮める努力はしてきたが、更なる改革が必要だろう。

# この人に聞く

えりも地域おこし協力隊  
鈴木 亜室さん (25歳)



岩手県北上市出身の鈴木さんは、当町がホームペー  
ジなどで募集していた地域  
おこし協力隊に応募して委  
嘱され、8月からえりも岬  
に住んでいます。

道の酪農学園大学を卒業  
後、3年間の札幌市内の民  
間会社を経験した後、自然  
が大好きで学生時代にヒグ  
マ研究部に所属していた  
ことがきっかけとなり、こ  
の道に進む決意をしました。  
「目の前には太平洋が、  
バックには日高山脈が。そ  
して、岬に生息しているゼ  
ニガタアザラシ、住宅付近  
のエゾシカなど、面接試験  
で来町しえりも町の魅力に

取りつかれました。

また、2か月ほど住んで  
みて、優しくて距離感を感じ  
させない方が多いことと、  
大自然をこんなに身近に感  
じ取れる素晴らしい町」と、  
感じたそうです。

ボートクルージングの受  
付などを手掛けながら、  
「せっかく訪れた方が時化  
などで乗船体験ができない  
場合を想定し、えりもの山  
に目を向けた新たな観光商  
品開発と、地場産品を用い  
た新たな食べ物の発掘を目  
指します」と心強い意気込  
みを語ってくれました。

## 議会の動き

8月 7日	全員協議会 (高齢者センター)
8月11日	日高地区森林・林業・林 産業活性化推進議員連盟 連絡会役員会
8月12日	町への要望書提出 (高齢 者センター運営関係)
8月21日	日高東部消防組合議会 全員協議会
9月10日	議会運営委員会
9月17 ~18日	全員協議会・第4回定例会 決算特別委員会 広報広聴常任委員会
9月24日	日高東部消防組合議会 臨時会
10月 8日	広報広聴常任委員会

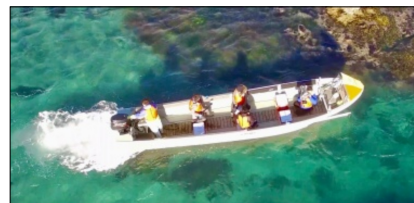
今後、仕事の面などで皆

さんと接しながら、色々な  
ご協力をお願いする機会が  
数多くあると思います。

「その折には、町民さま  
んのお力添えをぜひお願い  
いたします」

えりも町地域おこし  
協力隊とは・・・地域  
外の人材の積極的な誘  
致により、えりも町の  
地域力の維持・強化を  
図るための制度。  
都市地域等から当町  
に転入し、3年以上住  
み続けることが条件。

お忙しい中、取材に応  
じて頂きありがとうございます。  
祈りいたします。  
(取材・神田)



今後のコンポートクルーズ  
での交流人口に期待

### 新型コロナウイルス感染症対策によって 中止になった主な行事

- 8月14日 灯台まつり (海上安全祈願祭)
- 8月25日 議会広報研修会 (札幌)
- 10月4日 海と山の幸フェスティバル

## 編集後記

猛暑の夏季が終わり、秋  
季に入りましたが例年より  
非常に気温が高く、残暑が  
長く続きました。

当町の主要産業の昆布漁  
も終わり、まずまずの漁獲  
だったと聞き安心して居  
るところです。

コロナ禍で各行事が中止  
となる中、東洋小学校で、  
最後の運動会が開催され大  
変盛り上がったと聞いてお  
ります。

改選後1年経ちましたが  
議会だよりは、議会が何を  
考え、どう行動しているの  
かを伝えるツールとして大  
変重要と考えております。  
今後も、町民の皆様にお  
かりやすく、親しまれる  
「議会だより」を目指した  
いと思えます。(橋本)

### 広報広聴常任 委員会委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 橋本 維広 |
| 副委員長 | 高松 亮裕 |
| 委員   | 竹内 孝文 |
|      | 神田 修  |
|      | 上野 陽司 |